

ヘルスケア



株式会社エルシオ

バイオ



HILO株式会社

バイオ



リードファーマ株式会社

バイオ



株式会社シルクルネッサンス

エネルギー



モビリティエナジーサーキュレーション株式会社

微生物ビジネス



株式会社フレンドマイクロブ

昆虫食

BugsWell

BugsWell株式会社

VR

archiroid.com

株式会社アーキロイド

ITサービス



株式会社フィッシュパス



株式会社エルシオ

ヘルスケア

代表者	代表取締役 李 薺里
住所	〒604-8206 京都府京都市中京区新町通三条上る町頭町112番地 菊三ビル2階201号室 オギヤーズ御池内
ウェブサイト	https://www.elcyo.com/
問い合わせ先	lee@elcyo.co.jp

事業概要

「見たい」ものを「見える」ようにするオートフォーカス・アイウェアElcyo Glasses

眼鏡に搭載可能な視力補正用度数可変レンズをコアテクノロジーとして、現在の眼鏡・グラス製品の不便、使いにくさを解消し、全面的視野でレンズ度数を自由に切り替えることができる眼鏡を提供します。弊社は、人が眼鏡レンズを変えるのではなく、眼鏡レンズが人の目や習慣に合わせて変わり、生活をより楽しく、便利に導く世界の構築を目指します。日本を含む先進国では高齢化が非常に進んでおり、特に、国内老眼者市場規模は、5420万人にも上り、うち、我々の初期ユーザーとなる加入度数の大きな歪みの強い遠近両用レンズを使用する人は、685万人程度存在します。本製品は、老眼者に限らず、全世代の視力が不安定で様々な弊害に悩む方の視力補正に最適な眼鏡であり、近視の抑制進行や弱視治療にも役立つものになります。弊社が開発するレンズはARやVR機能を持つXRグラスにも搭載予定で、コンタクトレンズにも適合するものです。

強味・アピールポイント

従来にない広範な度数可変域を持つ大口径液晶レンズを、フレネル型の光学波面を形成する設計思想により超薄型・軽量、かつ低消費電力にて実現しました。ウェアラブルデバイスに最適なレンズであり、度数可変眼鏡（オートフォーカスグラス）、XRグラスに搭載し、ユーザーの視界環境の最適化（XRにおける没入感向上を含む）や、眼病の予防・治療が可能となります。

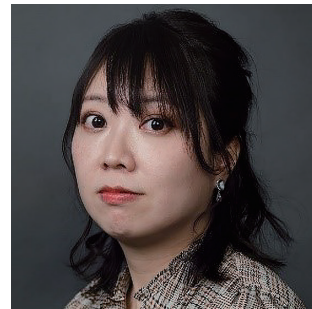
マッチングニーズ

協業・共同開発： 液晶レンズ製造メーカー、アイウェアOEMメーカー、眼鏡メーカー、XR関連メーカー等との連携を希望します。

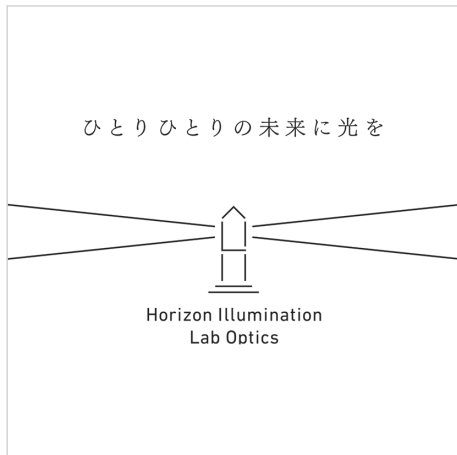
資金調達： シードラウンドの調達として、度数可変眼鏡、オートフォーカスグラス事業に関心をお持ちのVC、あるいは事業会社を中心に、2023年3月頃の資金調達を希望します。

代表プロフィール

2017年に大阪大学大学院理学研究科博士後期課程修了後、工学研究科にて液晶レンズの研究開発に取り組む。2014年に共同創業者の澁谷が開始した液晶レンズの事業化に、在学中の2015年から着手。2019年に液晶レンズの大口径化に成功し、株式会社エルシオを創業。2021年に、大学での研究開発を終え、眼鏡、ウェアラブル用途の液晶レンズ製品化を開始。2023年の販売を目指す。



代表取締役
李 薺里



HILO株式会社

代表者	代表取締役 天野 麻穂
住所	〒001-0021 北海道札幌市北区北二十一条西2丁目2
ウェブサイト	https://www.horizonillumination.co.jp/
問い合わせ先	info@horizonillumination.co.jp

事業概要

光診断薬で分子標的薬薬効を治療前から1細胞レベルで可視化する

慢性骨髄性白血病 (CML) は我が国で最も患者数の多い白血病である。標準治療には分子標的薬であるチロシンキナーゼ阻害剤 (TKI) が用いられており、5種類以上が薬事承認を受けている。しかし、患者により効果や副作用が異なり、薬代は年間300万円近くかかるなど、治療を受ける患者にとって肉体的・経済的に余分な負担を強いられる場合が少なくない。

そこで我々は、治療開始前から各種TKIの感受性を患者ごとに測定できる「光診断薬Pickles」を開発した。これを用いた薬効判定サービスを担当医師や患者に提供し、患者ごとに最適なTKIで治療を行えるよう活用いただく。最終的に治療成績の向上や副作用の低減が見込めるほか、休薬の可能性についても判断できるようになる。また、患者由来の生きた細胞1細胞レベルで薬剤感受性を判定できるので、薬の効かない細胞のキャラクタライズや治験の加速など、創薬への貢献も期待できる。

強味・アピールポイント

治療開始前から患者の生きた細胞1細胞レベルで分子標的薬の効果可視化できる技術は光診断薬のみである。臨床研究において100症例以上の実績があり、主要な成果は特許化 (2件、北海道大学より譲渡)、論文化されている。また、NEDO TCP 2020最優秀賞、NEDO NEP typeB採択等の実績がある。

マッチングニーズ

協業・共同開発： 臨床検査会社、製薬企業、創薬系企業との協業・共同開発を希望いたします。

資金調達： 2023年度早々に、2回目のシードラウンドとして1億5000万円の調達を希望いたします (VC様、事業会社様問いません)。臨床性能試験の実施と人員の拡充を目的としています。

代表プロフィール

2000年東京大学大学院修了、博士 (農学)。UCLA博士研究員、昭和女子大学専任講師、北海道大学特任助教を経て、北海道大学URA。大学本部の戦略策定や研究シーズの社会実装に従事する中で光診断薬の存在を知り、起業を決意。2019年から北海道大学大学院医学研究院講師。北海道大学で正規教員の社長兼業第1号となった。経営等の基礎知識を放送大学やVCのプログラム等で勉強中。この会社を大切に育てたい。



代表取締役
天野 麻穂



リードファーマ株式会社

バイオ

代表者	代表取締役社長 和田 郁人
住所	〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6-1 国立研究開発法人国立循環器病研究センター オープンイノベーションラボ21001
ウェブサイト	https://liidpharma.co.jp/
問い合わせ先	fumito.wada@liidpharma.co.jp

事業概要

"安全な"核酸医薬で循環器疾患を制圧する

核酸は、ポストゲノム時代である現在、理論的には標的にできない分子はなく、優れた医薬モダリティと言えます。一方で、実際は、安全性やドラッグデリバリーシステム (DDS) の課題があり、世界で開発されている核酸医薬は肝疾患や希少疾患を標的とするにも集中しています。

当社は、核酸医薬品の安全装置をコア技術として、上記の課題を解決した次世代の核酸創薬を実現します。この技術で核酸医薬の安全性を高めることにより、適応疾患の拡大等が期待され、核酸医薬のポテンシャルを最大限引き出すことができます。さらに、当社の核酸医薬の安全装置は、他社が開発する核酸医薬にも容易に装着できるため、安全性に課題があり開発に行き詰まる他社プロダクトをレスキューすることが可能です。専門領域である循環器疾患を重点領域として自社パイプラインの開発を進めるとともに、製薬企業と探索段階のパートナーリングにより事業を展開します。

強味・アピールポイント

【強み】 高い活性を維持したまま毒性のみを解消でき、かつ従来検討されてきた戦略と比べて圧倒的に汎用性の高い技術であること

【実績】 最も進んでいるパイプラインは、カクニザルへの単回の皮下投与で2~3ヶ月の有効性持続を実現し、少なくとも40倍以上の安全性マージンを確保

マッチングニーズ

協業・共同開発 : 核酸医薬のパイプラインの導入可能性がある製薬企業や、核酸医薬で有効性や安全性の課題をもつ製薬企業、当社の新規核酸医薬素材を実用化（スケールアップやGMP製造）に向けた提携が可能な核酸CDMO、との連携を希望します。

資金調達 : 直近のシードラウンド（2022年9月クローズ）では、ラボおよび開発体制（人員）の整備のため、次回のシリーズAラウンド（2023年7月頃）では、複数のパイプラインの前臨床試験を進めるために、バイオベンチャーへの投資に注力するVCからの資金調達を希望します。

代表プロフィール

2009年大阪大学薬学部薬科学科に入学。2013年に同大学大学院に進学後、核酸医薬品の研究開発に取り組み、2018年に博士号（薬科学）を取得。また、2015年からは国立循環器病研究センター研究所の斯波研究室にて研究員としても研究に従事。2019年8月にリードファーマ株式会社 (Liid Pharmaceuticals, Inc.) を斯波部長（当社取締役）と共に設立し、代表取締役社長に就任。



代表取締役社長
和田 郁人



SILK RENAISSANCE

代表者	代表取締役 伊東 昌章
住所	〒904-2234 沖縄県うるま市宇州崎5番8 沖縄ライフサイエンス研究センター116号
ウェブサイト	https://www.silk-r.jp/
問い合わせ先	info@silk-r.jp

事業概要

カイコ無細胞タンパク質合成系を用いたタンパク質の製造

弊社は、独自の“カイコ無細胞タンパク質合成技術”を社会実装し、創薬研究や再生医療研究の活性化を図ることを目的に設立された沖縄工業高等専門学校発のベンチャー企業であり、短・中期的にはタンパク質製造事業及び再生医療支援事業を柱に事業を展開し、将来的には創薬事業への進出を目指しています。

【タンパク質製造事業】 弊社のカイコ無細胞タンパク質合成系は、極めて短時間で目的タンパク質を効率的に合成可能な革新的技術です。これまでに合成したタンパク質の多くは可溶性であることを確認しています。そのため、創薬の基礎研究で使用される疾患関連タンパク質の合成にも優位性があると考えており、2024年4月までにニーズの高い疾患関連タンパク質50種の製造・販売を目指しています。

【再生医療支援事業】 細胞増殖促進効果を有する高分子セリシンを効率的に抽出・精製し、高分子セリシンをシャーレにコートした細胞培養足場を製造・販売していくことで、再生医療に貢献していきます。

強味・アピールポイント

- 【実績】
- ・2022年10月より、高い可溶化率を有し、世界最速レベルの納期（15営業日）のタンパク質受託合成サービスを開始し、創薬研究に貢献していきます。
 - ・「沖縄県 令和4年度産学官連携製品開発支援事業」へ管理法人として申請した製品開発テーマが採択され、現在疾患関連タンパク質の製造・販売に向けて共同研究開発を実施中（連携企業：プロテオブリッジ株式会社）。
 - ・カイコ無細胞タンパク質合成系を用いたタンパク質受託合成サービスを清酒大手の大関株式会社へ実施許諾中。

マッチングニーズ

協業・共同開発： 創薬の基礎研究段階で疾患関連タンパク質を必要とする製薬企業や研究機関、タンパク質アレイを活用した研究開発や検査事業を展開する企業・研究機関等との連携を希望します。

資金調達： 弊社独自のタンパク質製造事業、高分子セリシンを用いた再生医療支援事業に関心をお持ちのVC、もしくは事業会社を中心に、2023年の早い時期の出資をご検討ください。

代表プロフィール

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科博士後期課程修了、博士(学術)(1997年)。レンゴー株式会社中央研究所での昆虫無細胞タンパク質合成系開発(2000-2004年)を経て、株式会社島津製作所ライフサイエンス研究所にて昆虫培養細胞無細胞タンパク質合成系の実用化研究を推進(2004-2008年)。沖縄工業高等専門学校にてカイコ無細胞タンパク質合成系の高度化・実用化研究に従事(2008年-現在)。2018年1月に株式会社シルクルネッサンス設立、代表取締役(現任)。



代表取締役
伊東 昌章



モビリティ エナジー サーキュレーション株式会社

代表者	代表取締役 前菌 真司
住所	〒227-0065 神奈川県横浜市青葉区恩田町1020-4
ウェブサイト	https://www.mobenecircu.com/
問い合わせ先	maezono@mim-design.co.jp

事業概要

温水を利用した車載型、定置型の超小型バイナリー発電の研究開発業

100℃以下の温水を利用して発電する排熱利用発電（バイナリー発電）の超小型システムの研究開発、製造販売しています。発電出力1kW、2kW、4kWを開発中で、少量の排温水で発電でき、空冷式のため初期費用、メンテナンス費用が安くて済む定置型システムと世界初の車載型バイナリー発電システムです。トラックを走る発電所にして、他用途へ利用します。冷凍冷蔵車では、エンジン冷却水で発電しリチウムイオン電池に蓄電するシステムとエンジンで駆動する機械式冷凍冷蔵機コンプレッサーを後付けしたモーターで駆動するシステムを搭載する事で、15%程度の燃費改善と荷室温度の安定化を達成しています。車載型については、特許申請中で、実証試験で得られた知見も随時、特許申請する計画です。

強味・アピールポイント

自動車業界で培った知見と経験を基に、空冷式バイナリー発電の研究開発、製造販売を行っています。現在は車載型の発電効率と冷凍冷蔵車の燃費改善率を向上する実証試験中で、NEDOの（2020年度新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業「フェーズC（実用化研究開発）」）に採択されています。

マッチングニーズ

協業・共同開発： 冷凍冷蔵トラックでの燃費改善率確認および、配送トラックでの発電能力の実証試験に協力いただける輸送関連企業の連携を希望します。

資金調達： アーリーラウンドの調達として、トラックにおけるCO²削減やトラックの回生エネルギーに関心をお持ちのVC、あるいは事業会社を中心に、今年度中の資金調達を希望します。

代表プロフィール

自動車用品関連企業で企画開発営業を担当後、自動車用品開発企業を設立し代表取締役就任。後に自動車デザイン、先行開発を行う企業に入社し副社長として経営全般を担当。その企業から発電関連事業を分離独立する形で起業致しました。



代表取締役
前菌 真司



代表者	代表取締役 蟹江 純一
住所	〒464-0858 愛知県名古屋市千種区千種二丁目22番8号 名古屋医工連携インキュベータ 104室
ウェブサイト	https://friendmicrobe.co.jp/
問い合わせ先	jkanie@friendmicrobe.co.jp

事業概要

高性能油脂分解微生物による油脂分解処理事業

名古屋大学での国家プロジェクト (A-STEP起業タイプ) により発見された高効率に油脂を分解する独自の微生物製剤を活用し、油脂に関する問題を解消する技術・システムを提供しています。従来にない圧倒的な油脂分解能力を誇る微生物製剤と排水処理法をシーズとし、食品工場や油脂工場の排水処理の前処理工程である加圧浮上分離法を代替する技術をメインで提供しています。

食文化の変化に伴い顕在化しつつある油脂トラブルに対する効果的なソリューションであり、排水処理のみならず、固形廃棄物についても適用が可能です。油脂の消滅により、悪臭発生源の消滅や、産業廃棄物の削減が見込まれます。油脂由来の廃棄物削減することでSDGsに寄与し、またコストの低減も同時に図ることができます。

強味・アピールポイント

微生物自体の性能が違います。分解速度が圧倒的に速く（本製品：1.6g/L/h⇔既報最速値：0.2g/L/h）、高濃度油脂の処理が可能（30g/Lまでの実績）、すべての動植物油脂を分解可能です。なによりも研究開発力と人材育成力のある大学との連携が可能であり、常に技術のアップデートを図ることが可能です。

マッチングニーズ

協業・共同開発： 油脂を含む食品を扱っているメーカー、排水処理に関する商材を扱っている商社、排水処理関連の設備を管理されているエンジニアリング会社との連携を希望します。

資金調達： アーリーラウンドの調達として、環境分野に関心をお持ちのVC様・CVC様・事業会社を中心に、2023年3月までの資金調達を目指しています。

代表プロフィール

名古屋大学工学研究科博士後期課程に進み、計6年間微生物に関する研究活動を行い、その後、当社に主任研究員として入社。主任研究員として新システムの開発および広報資料の作成、営業活動を行いながら、日本のバイオベンチャーの草分け的存在である株式会社医学生物学研究所を創業時代より経営者として率いて上場を果たした西田克彦前代表の元で経営を学び、代表に就任。



代表取締役
蟹江 純一

BugsWell

BugsWell株式会社

代表者	代表取締役 浪方 勇希
住所	〒851-3303 長崎県西海市西彼町亀浦郷1243
ウェブサイト	https://www.bugswell.com/
問い合わせ先	info@bugswell.com

事業概要

昆虫が持つ可能性をイノベートしエシカルで栄養価の高い商品を世の中に普及させる

当社は、昆虫食業界の「味の素」を目指し、「おいしい」を前面に出した昆虫食ビジネスで2021年1月に西海市で創業。食用コオロギの生産から食品開発、機能性成分に関する研究開発までを手掛けています。昆虫由来成分を配合したチョコレートやビールなどのオリジナル商品を販売するほか、複数の大学とコオロギに含まれるタンパク質成分の効果分析及び食品転換に関する共同研究を実施しています。

強味・アピールポイント

大学との共同研究や専門企業との協業を通じて用途別（A1～A5）の新市場形成に取り組んでいます。

A1ではコオロギの死骸や脱皮した殻、糞をアップサイクルし肥料に、A2では従来の飼料に対する代替品として昆虫由来の飼料づくりに取り組んでいます。A3は食品として昆虫由来のうま味を軸にした食品開発に、A4では昆虫由来のタンパク質で機能性食品に取り組んでいます。A5ではコオロギに含まれる成分による細胞への効果を研究しています。

マッチングニーズ

協業・共同開発： 昆虫食開発、特に食用コオロギ開発と安定生産体制を築くにあたって、生命科学、昆虫科学、食品科学、情報科学および材料工学などの学術分野を跨いだ相補的・相乗的な共同研究開発と異分野融合を図りたい。

資金調達： アーリーラウンドの調達として、フードテックや代替タンパク質市場に関心をお持ちの投資家あるいは事業会社を中心に資金調達を希望します。

代表プロフィール

人材業界で営業部門や新規事業開発を経験した後、人材会社を創業。その後、東証一部上場企業にM&Aをし、グループ子会社代表取締役に就任。2017年に長崎県西海市にて、西海市、親和銀行らの出資を受けデザインとテクノロジーを扱う地域商社を創業し代表取締役に就任。事業開発と広報企画に強みを持つため、アライアンスやプロモーション施策に長けている。



代表取締役
浪方 勇希

archiroid.com

株式会社アーキロイド

VR

代表者	代表取締役 佐々木 雅宏
住所	〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目21番4号 崇城大学会館 6F
ウェブサイト	会社 : https://archiroid.co.jp サービス : https://archiroid.com/
問い合わせ先	tsukui@archiroid.com

事業概要

誰でも楽しめる住宅設計サービスarchiroid.com

archiroid.comは、木造住宅の施主と工務店が情報収集から設計・内覧まで出来るオープンソース型注文住宅設計プラットフォームです。「集客」と「設計」の2つのパッケージから構成されており、「集客」には住宅の3Dモデルを体験できる「VRウォークスルー」と、それらのモデルを物件サイトのように検索比較できる「空間デザインWiki」があり、「設計」にはWEBで動作する「設計プラットフォーム」と各種データの「ダウンロードサービス」があります。工務店のペインである集客と設計のDXを実現し、施主に対しては比較可能でオープンな家づくり体験を提供します。特に「設計プラットフォーム」は簡単な設計操作と、法規や構造など専門的な評価を即提示することで、誰でも”建築可能な”住宅の設計を楽しむことができます。収益は工務店に対するパッケージ使用料と、工務店と施主の契約時のロイヤリティが柱になり、他にもゲームなど多用途のモデルデータ販売、建材・家具の広告費等の収益を検討中です。

強味・アピールポイント

自社開発した一気通貫の住宅設計エンジンで、プラン入力から数秒で部材情報の3Dモデリング、図面や加工機用データ(加工テスト済)、見積表(実物件で検証済)などが出力されます。工務店のペインとなっている工程をDXしてコスト削減、設計の醍醐味とも言えるプランニングを何度も試行錯誤できます。また、注文住宅分野で実績のある建築家と住宅デザインアセットを共同開発中で、工務店のペインである「集客」に対するソリューションとなります。

マッチングニーズ

協業・共同開発 : archiroid.comを介して出力された設計案を建設する工務店。

資金調達 : 建築、デザイン、住宅、ライフスタイルなどに興味をお持ちの投資家を中心に、2023年3月頃までの資金調達を希望します。

代表プロフィール

2014年3月 慶應義塾大学 環境情報学部卒業、2016年3月 同大学院 政策・メディア研究科修了(修士)、同年6月に合同会社アーキロイド(現・株式会社アーキロイド)を設立。以来、住宅の自動設計システム、ゼネコン・設計事務所へのコンサルティング、アート作品の制作などに従事。その他に長岡造形大学、慶應義塾大学で非常勤講師を経験。



代表取締役
佐々木雅宏

株式会社フィッシュパス

ITサービス



代表者	代表取締役社長 西村 成弘
住所	〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
ウェブサイト	https://www.fishpass.jp/
問い合わせ先	contact@fishpass.co.jp

事業概要

オンライン遊漁券アプリ「フィッシュパス」の企画・開発・運営

今、地域の川は長年管理してきた内水面漁業協同組合が、担い手不足と経営悪化によって年々解散しています。多くの川が放置される危機にあって、これまで現地の商店でしか購入できなかった遊漁券を、24時間どこでも購入可能にしたのがフィッシュパスのアプリです。

フィッシュパスは、子供の頃、祖父とヤマメ・イwana釣りを楽しんだ故郷の川が荒れ果てている現状を目のあたりにしたことがきっかけとなります。故郷の川をなんとかかしたいという思いから、2017年3月にフィッシュパスが始まり、全国150の内水面漁業協同組合と提携することに至りました(2021年12月時点)。また、川釣りの定番アプリとして、10万人超のユーザーを獲得しています。そこから派生して、地域の観光、防災と海釣り公園のDX化を行なっております。フィッシュパスは、“あの川の未来を創ろう”を理念に、より一層、川を囲んで釣り人と漁協、地域社会がつながる仕組みを提供していきます。

強味・アピールポイント

川への最初の入り口である漁協と提携することによって、川市場全体に事業が展開できるようになりました。現在、全国170の内水面漁業協同組合とアプリユーザー18万人を獲得しております。これらを成長ドライバーとして、川と地域での優位性、実現性と収益性ある事業展開ができるようになっています。

マッチングニーズ

協業・共同開発：川を起点にした新規事業として、ドローンを活用した事業を計画準備しております。事業準備にあたり、国内ドローンメーカーと協業し、事業実現を加速させたいと考えております。

資金調達：2025年にIPOを計画しております。実現にあたり、システム開発費と専門性の高い人材を必要としており、そのための資金とハンズオンを期待しております。

代表プロフィール

1975年福井県坂井市生まれ。2000年関西大学文学部卒業、日東電工(株)入社。2004年に独立し、有限会社オンフォードを設立。2016年に株式会社オクター(2017年(株)フィッシュパスに改称)を設立。2021年3月、福井県立大学大学院経済・経営学研究科修了。



代表取締役社長
西村 成弘